

平成25（2013）年度版「100の指標でみる山口県」をご紹介します。
 これは、自然環境、人口、教育、福祉、生活、産業など幅広い分野にわたる統計指標の中から、全国比較の可能な100の指標を取り上げて、最新の調査を含めた過去4回分の都道府県別調査結果と順位を掲載したものです。

他県との比較、時系列での比較などを行うことで、山口県のさまざまな特徴、動きを知ることができます。

例えば、山口県の1人当たりのごみの排出量は5位、リサイクル率も2位と、全国でも高い水準にあります。一方、大阪府は、その一方でリサイクル率は47位で、リサイクル率1位の三重県は、ごみの排出量では25位となっており、各県の特徴が現れています。

ほかに山口県は、県内大学・短期大学における自県出身者割合が低く、40位となっています。

山口県と同様、水準が低位の都道府県は、神奈川（37位）、和歌山（38位）、山梨（39位）、埼玉（41位）、東京（43位）、奈良（45位）、京都（46位）、滋賀（47位）などと大都市圏に集中しており、全国的な特徴が現れています。

また、時系列で大きく変化している指標には、人口千人当たりの新設住宅着工戸数があり、平成21（2009）年の36位が、平成24（2012）年には22位と、大きく上昇しています。

この「100の指標でみる山口県」は県統計分析課ホームページでも公表しており、ここで紹介した以外にも、いろいろな発見があると思います。あなたもわたしたちが暮らす山口県をもっと知ってみませんか。

